

会議名	町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託第1回事業候補者選考委員会
開催日時	平成30年4月20日(金曜日)午後3時30分から午後5時まで
開催場所	港区役所3階産業・地域振興支援部会議室
委員	産業・地域振興支援部長 星川 邦昭(委員長) 産業・地域振興支援部地域振興課長 櫻庭 靖之(副委員長) 芝地区総合支所協働推進課長 金田 耕治郎(委員) 麻布地区総合支所協働推進課長 鈴木 健(委員) 高輪地区総合支所協働推進課長 鈴木 雅紀(委員)(欠席)
事務局	産業・地域振興支援部地域振興課
会議次第	1 開会 2 事業候補者募集要項等について 3 評価基準について 4 その他 5 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者募集要項(案) ・資料2 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業者候補選考様式集(案) ・資料3 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託仕様書(案) ・資料4 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考基準及び採点票(案) ・参考資料 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託選考委員会スケジュール(案) ・参考資料 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 ・参考資料 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員名簿
会議の内容	
A委員	【1 開会】 ただいまから、「第1回町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員会」を始めます。 本事業は、町会・自治会活動をより充実したものとするため、町会・自治会の現状及び課題を分析した個別の活動応援プログラムを作成し、課題解決に向けた方策を考案・支援するものです。 本件の受託事業者については、区の求める要件に対する理解、町会・自治会活動に関する広範かつ高度な知識と豊富な実績、課題整理及び分析能力などの専門性が求められます。 そのため、見積額だけでなく、事業者個々の実績、能力等を確認するとともに、他の事業者とも比較し、適切な事業候補者を選考するため、本選考委員会を設置します。 委員の皆さんはご多用とは存じますが、選考について、ご協力をよろしくお願い申し上げます。 それでは、まず、B委員から、委員のご紹介をお願いします。

B 委員	(B 委員より委員の紹介) ～詳細省略～
A 委員	<p>【2 事業候補者募集要項等について】</p> <p>まず、事業候補者募集要項等についてですが、事前に事務局が資料 1、資料 2 及び資料 3 のとおり案を用意しています。この案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局より資料 1、資料 2 及び資料 3 説明) ～詳細省略～</p> <p>資料ごとに、意見をお伺いします。まずは資料 1 の募集要項について、何かありますか。</p>
C 委員	当業務は、議会報告をした際に 3 年間で実施していくと報告していたと思います。そのとおりであるならば、3 年間の事業であることを募集要項や仕様書に掲載するべきと思います。
事務局	委員がおっしゃるとおり、「分析」「本格実施」「検証」の 3 年間の事業実施を予定しています。また、支援の対象団体は 3 年間同じ団体を支援します。現在、仕様書は単年の仕様になっておりますので、その点は 3 年間で意識した修正を行います。
A 委員	支援する町会・自治会数について、仕様書には記載していますが、募集要項にも記載するようお願いいたします。事業者が人件費の算出をする際の基準にもなるかと思えます。
事務局	修正します。
C 委員	<p>3 年間の事業者のスケジュール、その間に行っていただくことを明確にわかるような内容にするべきと思います。</p> <p>どれだけの成果を各年度で求めるのか、その点を反映させる必要があります。</p>
事務局	成果の目安として、1 年目は、少なくとも課題解決の道筋をつける必要があります。その課題解決に向けた取組を実施するのが 2 年目、そしてその取組がどれだけ有効だったのかを検証するのが 3 年目となります。
C 委員	町会・自治会により、進み具合に差が生じるなど、取組が様々かと思えますので、あくまで掲載するのは、モデルとなる 3 年間のスケジュールを掲載するのがいいかもしれません。
事務局	モデルのスケジュールを掲載します。
D 委員	<p>3 点よろしいでしょうか。</p> <p>1 点目は、事業者のプレゼン時間が 10 分ということですが、地域コミュニティの話をするにあたり、10 分は短いと感じていますので、もう少し長い時間をとる必要があると思います。</p>

	<p>2点目は、この募集の周知について、どのようなかたちで周知する予定なのか教えてください。</p> <p>3点目は、この案件を区民文教常任委員会へ報告した際に、議会と連携が上手くとれなかったという指摘があったことを伺っておりますが、この件について、どのようなかたちで議会へ情報提供していくのか、お聞かせください。</p>
事務局	<p>審査時間については、プレゼン時間 20 分、質疑応答 20 分の合計 40 分まで変更可能です。</p>
A 委員	<p>そのように時間の変更をお願いします。</p>
事務局	<p>周知については、広報みなと及びホームページの両方で周知予定です。議会への周知に関しては、事業者が決定した後、このような事業を行いますという内容のチラシ等で周知する予定です。</p>
D 委員	<p>議会への周知について、当時の区民文教常任委員会のまとめとして、もう少し議会とやり取りをしながら、内容を決めた方が良かったのではという部分がありましたので、今回の周知をする際には、丁寧に周知をしていく方がいいかなと思いました。</p>
A 委員	<p>5月11日号の広報みなとに掲載する前など、募集をかける前に議会へは情報提供をするようにしてください。</p>
事務局	<p>議会への周知の件、承知しました。</p>
C 委員	<p>実施スケジュールについて、お伺いします。</p> <p>町会・自治会がこの事業に応募するかどうかは、定期的に行っている役員会等を通じて、団体としての決定をした上で応募してくると思われれます。</p> <p>そして、その団体がもし2団体以上来た場合、各総合支所は選考をする必要があり、このスケジュールだと一か月でそれを行うことになっています。</p> <p>町会・自治会や各総合支所の状況を踏まえると、一か月以上かかるかと思えますので、スケジュールへの修正をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>修正します。</p>
A 委員	<p>選考の基準は、各総合支所に任せるというかたちですか。</p>
事務局	<p>各総合支所の判断に任せます。協働推進係長会にて、お諮りをした際に総合支所で行うということ了承をいただいております。</p>
A 委員	<p>小柳津副区長からのコメントをお話すると、各町会・自治会がこのプログラムを知らないという状況は避けてほしいというリクエストがありました。事務局や各総合支所では、紙を渡したから周知したということではなく、丁寧な周知を行うようにお願いします。</p>

事務局	各総合支所と連携して、そのようなことのないようにします。 また、現在港区 HP にて、町会・自治会の共通ページを作成中ですので、そちらでの周知、月に一回の町会発送物での周知も併せて行います。
A 委員	必ずしも町会・自治会の集まりでなくとも、周知してもいいかもしれません。 他の会議体でも町会・自治会長がいる場合もありますので、同じ紙を受け取る人が出てくるかもしれませんが、そのような工夫も行ってみてください。
事務局	承知しました。
A 委員	続きまして、資料 2 様式集について、いかがでしょうか。
C 委員	資料 3 の仕様書にて、事業者に何を行っていただくかを確認してから、資料 2 の様式 6 について、話し合いたいのですが、いかがでしょうか。
委員長	わかりました。資料 3 の仕様書を先に確認しましょう。
C 委員	仕様書の「7 委託内容」において、方策を考案する部分が抜けているように感じましたので、確認をお願いします。 また、運用していくのは、各総合支所ですので、仕様書の内容については、各総合支所の声を聞いた上で、決めていくのが良いかと思います。
A 委員	選考委員会のスケジュール次第かと思いますが、事務局として、総合支所に確認をとった上で進めていくことは可能ですか。 また、どうかたちで確認依頼するのがいいと思いますか。
C 委員	協働推進係長会なり担当者会にて、諮るのが良いかと思います。 選考委員会のスケジュールが全体的に後ろにずれることになったとしても、確認は行った方がいいと考えます。
事務局	4 月 23 日に協働推進係長会がありますので、そちらに議題として挙げるよう調整します。 1 週間期間を設けて、各総合支所で確認をとるようにはしていただければ、選考委員会のスケジュールはずらさずに、運営できるかと思います。 また、協働推進係長会や実務検討会の中では、細かい部分のお話はしていませんが、大まかな部分のお話は昨年度から何度かしておりますので、担当者の理解も進みやすいかと思います。
A 委員	それでは、選考委員会のスケジュールはずらさずに、予定どおり行うことでお願いします。また、仕様については、23 日の協働推進係長会にて諮り、その後とりまとめるようお願いします。
事務局	承知しました。

A委員	<p>【3 評価基準について】</p> <p>話を戻し、資料2について見ていこうと思いますが、資料4と併せて見ていくのはいかがでしょうかと思いますので、評価基準について検討していきます。</p> <p>第1次選考では、提出書類を審査し、第2次選考に進む事業者を3者選出する予定です。</p> <p>第2次選考では、事業者によるプレゼンテーションとヒアリングを行い、1者を選出した後に、7月26日（木）の業者選定委員会に諮る予定です。</p> <p>第1次選考と第2次選考の評価基準についても、事務局が資料4のとおり、案を用意しています。</p> <p>まずはこの案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（事務局より資料4について説明）</p>
A委員	<p>様式と選考基準を比較しながら、選考基準にある項目が、様式から読み取れるかどうかを中心に見ていきます。</p> <p>様式1～3は定型的なものですので、様式4から始めます。</p> <p>様式4についてですが、業務の質というのは、どのようにして読み取れることを想定しているのでしょうか。</p> <p>かけたお金に対して大きな効果を出した、大きな契約金額で他自治体から委託を受けたなどを判断して、質を見るのか教えてください。</p>
事務局	<p>規模という書き方もしておりますので、これまでの業務実績のボリュームなども見ていただき、規模及び質に関する読み取りをしていただく想定で考案しました。</p>
A委員	<p>ここから質を読み取るのは、難しいように感じます。</p>
C委員	<p>会社概要については、見積りのように、機械的に事務局採点がよろしいと思えますがいかがでしょうか。</p>
B委員	<p>事務局で採点基準をつくり、それを見ていただくというのがいいかもしれません。</p>
A委員	<p>全く違う業務の実績を見ても仕方がないので、町会・自治会関係の業務をこれまで行ってきたかどうかをここで見る必要があると思います。</p> <p>様式4については、事務局採点も検討し、内容をもう少し工夫するということがよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>承知しました。様式6の「支援アドバイザーの質」の部分も同様に再度検討します。</p>
A委員	<p>選考基準に関する内容が、必ず様式に書かれるようにしなくてははいけません。その点を踏まえ、様式5はいかがでしょうか。</p>
B委員	<p>実績が5年以内は長いので、2年以内にした方がいいと思います。</p>

事務局	承知しました。
A委員	様式5はよろしいでしょうか。 続いて様式6です。様式6に関しては、6-1というように枝番をつけた方が見やすいと思いますので、そのようにしたらいかがでしょうか。
事務局	承知しました。
D委員	様式6の五枚目、「支援アドバイザー」の定義は仕様書を中心に固めておく必要がありますので、よろしくお願いします。
C委員	「プログラム」と「方策」の違いを教えてくださいたいのですが、どうでしょうか。
事務局	当事業の大まかな流れとして、町会・自治会の分析を行い、支援の方向性確認を行います。その方向性に従い、コミュニティの活性化や会員数の増加など、その町会・自治会がこれから何に取り組むのかについて、メニューをつくります。これが「プログラム」です。 そのメニューの中から、取り組むものを町会・自治会が選び、ヒアリングを通じて、課題解決の方策を練っていく、それが「個別プログラム」ということとなります。
C委員	10団体全てに共通するプログラムをつくるということで、私の認識では、1団体ごとに1つのプログラムをつくるのかと思っておりましたが、違うことがわかりました。
事務局	確かに、「プログラム」の言い方により、受け取り方が違う場合もあるかもしれません。
C委員	仕様書など、事業者が内容を間違えないように表現の仕方を変更する必要がありますので、その点はお願いします。
B委員	ちなみに高輪支所の事業はどうだったのでしょうか。
事務局	高輪支所の事業では、町会・自治会のカルテを作成し、それをもとに取組の方向を決めてしまい、それが町会・自治会のニーズに合わないところもあったということがありました。 「プログラム」や「方策」の表現が混在して受け取り側がわかりにくくなっているなど、この件につきましては、仕様書内文言の伝え方など表現を変更して対応できると思いますので、事務局で内容を調整します。
C委員	仕様書などには入らないことかもしれませんが、支所が行うこと、事業者が行うこと、3年間の各年度の到達点などをフローチャートのようなかたちでまとめていただけると助かります。

A委員	<p>それでは、ただ今の件に関しては事務局の方で整理をお願いします。続きまして様式7ですが、こちらは事務局採点ということで採点案を用意していますが、この点についてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>参考事業規模が約500万円であり、その10%の50万円ごとに5点から1点まで、点数の区分をつけています。 予算額が480万円ですので、480万円以上の見積額は1点としています。</p>
A委員	<p>よろしいでしょうか。ワーク・ライフ・バランス推進は、様式は関係なく判断するということによろしいのですか。</p>
事務局	<p>様式とは関係なく、事業者が受けた認定通知を基に点数をつけることになっています。</p>
A委員	<p>資料については、事務局で修正したものを、後日各委員に送付し、確認をとるということによろしいでしょうか。 それでは事務局から次回以降の日程について、連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>【4 その他】 次回の選考委員会は、6月21日（木）15時30分から当会議室にて開催を予定しており、第1次選考（書類選考）を行っていただく予定です。 各事業者の提出書類については、6月6日（水）までにお送りします。 第1次選考評価基準に沿って事前に審査していただき、6月15日（金）までに事務局にご返送くださいますようお願いいたします。 また、7月6日（金）には、第3回事業候補者選考委員会（第2次選考）を開催予定です。 第2次選考では、各事業者のプレゼンテーションを見ていただいた後、質疑を行い、その結果を基に審査していただきます。 委員の皆様の審査結果を事務局が取りまとめ、最終的に1者を決定する予定です。</p>
B委員	<p>第1次選考にかかる事前書類審査の期間は6月15日（金）までではなく、土日を含んで、18日（月）正午に提出というのは可能ですか。</p>
事務局	<p>調整します。書類の提出は6月18日（月）正午までとさせていただきます。</p>
A委員	<p>【5 閉会】 最後に、全体をとおして何か質問や意見はありませんか。 特にないようでしたら、本日はこれで閉会します。おつかれさまでした。</p>

会議名	町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託第2回事業候補者選考委員会
開催日時	平成30年6月29日（金曜日）午前9時から9時45分まで
開催場所	港区役所3階産業・地域振興支援部会議室
委員	産業・地域振興支援部長 星川 邦昭（委員長） 産業・地域振興支援部地域振興課長 櫻庭 靖之（副委員長） 芝地区総合支所協働推進課長 金田 耕治郎（委員） 麻布地区総合支所協働推進課長 鈴木 健（委員） 高輪地区総合支所協働推進課長 鈴木 雅紀（委員）
事務局	産業・地域振興支援部地域振興課
会議次第	1 開会 2 第一次審査（書類審査） 3 その他 4 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考基準及び第一次審査採点票（集計） ・資料2 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員会第二次審査について ・参考資料 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託選考委員会スケジュール
会議の内容	
A委員	【1 開会】 ただいまから、「第2回町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員会」を始めます。 本日は、第一次審査である書類審査を行い、第一次審査を通過する事業候補者を決定します。
A委員	【2 第一次審査（書類審査）】 まず、第一次審査の評価についてですが、事務局が、皆さんの評価を資料1のとおり、とりまとめています。 この内容について、事務局から説明をお願いします。
事務局	委員の皆様にはお時間のない中、書類審査にご協力いただき、ありがとうございました。 今回の選考には、2者から応募があり、評価は各委員100点満点で5人の合計は500点満点で採点していただいております。 全委員の評価と区内事業者優遇の加点を合計しますと、事業者Aが326点、事業者Bが392点となりまして、第1位が事業者B、第2位が事業者Aとなっております。 また、事務局採点について、ご説明申し上げます。 事務局採点9評価項目については、3点ございます。 1点目が資料1の中の様式4の部分、「会社概要」のところになります。「会

	<p>社概要」については、町会・自治会を活性化させた事業実績に応じて、点数の配分をしております。事業者Aは、実績が5件記入されておりましたが、いずれも類似事業ではないため、「実績なし」とみなし1点、事業者Bは実績が5件あったため、5点としております。</p> <p>続きまして2点目、様式7の「見積価格」のところでは、両者とも420万1千円から480万円の間だったため、5点としております。なお、3点目の「ワーク・ライフ・バランス推進」については、両者とも認定通知の提出が無かったため、「加点なし」の0点としております。</p> <p>最後に、各委員の点数をそれぞれ確認させていただきます。</p> <p>委員Ⅰによる評価は、事業者Aが合計56点、事業者Bが64点、委員Ⅱによる評価は、事業者Aが合計57点、事業者Bが74点、委員Ⅲによる評価は、事業者Aが合計57点、事業者Bが76点、委員Ⅳによる評価は、事業者Aが合計59点、事業者Bが74点、最後に、委員Ⅴによる評価は、事業者Aが合計71点、事業者Bが85点となっております。</p> <p>各委員の評価につきましては、事務局が採点した項目の採点結果も加点しております。備考欄には、各委員の意見等もまとめております。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。</p>
A委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>各委員から、審査にあたり評価したポイントなどをご説明していただければと思います。それでは、B委員からお願いします。</p>
B委員	<p>事業者Aについて、担当者の町会等支援の実績は少なく、企業経営支援が多いと感じました。</p> <p>体制は、余裕を持った体制を組んでいただいています、担当者に左右されるのではないかと懸念しております。</p> <p>町会の分析方法については、外部環境分析と内部要因分析の両面から分析が出来るというところに高い評価をさせていただきました。来年度以降の発展については、あまり記載が無かったので、二次審査で聞ければと思いました。</p> <p>事業者Bについて、これまでの担当者の実績が確認でき、専門性の高いスタッフを揃えているのではないかと判断しました。</p> <p>分析前のアンケート調査方法として、各総合支所協働推進課や町会のキーパーソンに意見を聞いて実施することについては、より実践的な形で行うことができると期待できます。</p> <p>加入促進における提案等は、書かれていないので、こちらも二次審査で聞ければと考えております。全体的な形で、事業者Bを高めに評価させていただきました。以上です。</p>
C委員	<p>B委員もおっしゃっていたように、事業者Aについては、これまで中小企業支援に関する業務実績が多く、体制についても同様に経営支援や中小企業診断の方への体制はあるのですが、町会・自治会支援について詳しいスタッフが見当たらないと感じました。</p> <p>町会・自治会支援の手法については、支援の取組、考え方や方向性については、もう少し具体的な掘下げが欲しいなと思いました。</p>

	<p>また、支援アドバイザーについても、やはり全員が経営支援の専門家であり、町会・自治会のアドバイスにおいては、防災など、その町会独自の課題に取り組むための専門家が必要ですが、そういった方々が見当たらず、実績豊富な方々をもう少し揃えていただきたかったと思っています。</p> <p>一方、事業者Bについては、従事予定者の町会・自治会支援に関する経験が豊富であることを感じました。</p> <p>企画提案書についても、分析手法、あるいは取組の考え方、ヒアリング手法など全体として、イメージもしやすく、判り易く示されていたと思います。</p> <p>支援アドバイザーについても、様々な専門家の方を揃えられています。アドバイザーの体制としてはAと比較しても十分かなと感じました。</p> <p>全体としては、Bの方に優位性があると評価しました。</p>
D委員	<p>事業者Aについては、経営支援的なアプローチで今後の可能性をどうみるかというところ、事業者Bについては、手堅くプロセスを含めて提案をしているという印象を持ちました。</p> <p>事業者Aは、各委員から話がありましたように「中小企業支援」という切り口が強く、マーケティングツールを活用した支援が町会・自治会支援にどれだけ当てはまるのかというところが具体的に見えず、未知数の部分があります。</p> <p>一方、事業者Bは、手順、ヒアリング、プロセスの組み方、体制共に具体的で、手堅いという印象があります。</p> <p>提案内容の実現性について、若干難ありの部分もありますが、事業者Bの方が高いという評価をさせていただきました。</p>
E委員	<p>私は皆さんと少し違う印象で、事業者Bは確かに手堅い印象を受けましたが、それ故につまらないなという風に感じました。</p> <p>港区の都心的な特性を考慮すると、他自治体の成功例を港区に当てはめるのは、なかなか難しいのではないかと感じました。</p> <p>皆さんがおっしゃっているように、事業者Aは、基本的には経営コンサルタントが主体で、確かに未知数ではありますが、だからこそ、ちょっと違った視点からのアプローチが出来るのではないかと感じました。</p> <p>この機会に、少し違うアプローチをプログラムを組む中でやっていくのであれば、そのような考え方も必要かなと思いました。</p>
A委員	<p>多くの委員さんからありましたように、具体的には事業者Bの経験が豊富で、町会・自治会という事に対しては、近い提案がされているかなという印象です。事業者Aについては、分析手法が、専門的な知識に基づいた手法をお持ちで、その部分については高く評価しています。</p> <p>ヒアリング手法は、B事業者は非常に丁寧な手法を取っており、より住民に近い形でやってくれる事を期待させてくれました。</p> <p>全体的にみても、分析等の専門的知識に基づいた中身については、事業者Aが優れていましたが、その他の部分については、事業者Bが当事業に期待するところに合うのではという印象を持って採点をしました。</p> <p>それぞれ皆さんの意見や採点内容についてお話いただきましたが、事務局も含め、質問や意見がありましたらお願いします。</p>

	<p>まずは、事務局採点部分について、事業者が類似事業を実施した経験や実績のところで差がかなりついているので、改めてそこを確認させていただきたいのですが、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ただ今、委員長からお話がありました件についてご説明します。 こちらは、様式4の部分になります。ここでは、「町会・自治会支援委託業務について、類似事業はありますか」ということを質問しています。 募集要項では、「類似事業とは町会・自治会の活性化に関する事業です。」というふうに記載しております。 事業者Aについては、書類からは「中小企業の創業支援」や「経営相談」は読み取れますが、町会・自治会支援を読み取ることが出来ないため、類似ではないと判断し、町会・自治会支援に関する実績はなしということで、1点としております。 また、事業者Bにつきましては、それぞれ類似事業の実績について、5件書かれており、質問内容にも合致するという事で5点つけています。</p>
B委員	<p>4つ目の「多摩地区地域人材育成事業」の実績は、町会・自治会支援ではないと思われませんが。</p>
事務局	<p>件名に町会・自治会の文字は入っていませんが、地域の人材育成という事で、地域で活動している方々、いわゆる町会・自治会を含む、地域の人材や担い手も含まれるのではと感じ、採点しました。 ただし、この文面から直接的に町会・自治会に絡んでいるというのは判断が難しい部分もあるかもしれません。</p>
A委員	<p>他の職員から、判断する際にはインターネット等で内容を確認するということ聞いたことがあり、こちらについても内容を確認した方がいいのではと思いました。 ここは、内容を確認した上で4番については除いてというかたちでよろしいでしょうか。</p>
C委員	<p>会社概要の部分は、評価の方法としたら、ここで切るしかないかなという気がします。委員会にて、4つ目の実績において、疑問が出たのであれば、厳密にしておいたほうが良いと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>そうすると、事業者Bについては、事務局で内容を後で確認していただき、採点については、「5つ該当した」というところを「4つ該当した」という判断で良いですか。よろしいでしょうか。 変更により、事業者Bは、全委員2点ずつ下がります。 他に質問、意見、確認等がありますか。よろしいですか。 若干、視点が違うところがありますが、それほど差が付いていないというところですので、次の局面に移れるかと思えます。 それでは、一次審査の評価点数について、事務局から改めて確認をお願いします。</p>

事務局	<p>確認させていただきます。現在、様式4「会社概要」について、事業者Bが委員Ⅰ～Ⅴまで、それぞれ10点付けておりますが、こちらを2点ずつ下げて、各委員8点となります。その結果、事業者Bは、委員Ⅰが62点、委員Ⅱが72点、委員Ⅲが74点、委員Ⅳが72点、委員Ⅴが83点で、各審査員の合計が363点になります。363点に区内事業者優遇の5%の19点を加算して事業者Bは、合計382点で得点率は76.4%になります。</p> <p>なお、事業者Aは、各審査員の合計の310点に、区内事業者優遇の16点を加算して326点で得点率は63.2%になります。</p>
A委員	<p>ありがとうございました。今の点数で、一次審査の評価点数を決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>点数が6割を2者とも超えておりますので、一次審査通過事業者は2者として、二次審査において、1者に決定したいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事務局は、2者へ一次審査を通過した旨をお伝えして下さい。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
A委員	<p>【3 その他】</p> <p>二次審査について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2をご覧ください。二次審査は、7月6日（金）午前中に行います。</p> <p>二次審査では、事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答を行い、それぞれ20分ずつの持ち時間40分で評価していただきます。</p> <p>当日は、9時30分から開始して、最初の10分間で本日の流れを確認させていただき、9時45分からプレゼンテーションと質疑応答に移ります。各事業者のプレゼンテーション及び質疑応答が、11時20分に終わりましたら、各委員の採点を集計します。集計した結果を基に、事業候補者を決定するという運びになります。</p> <p>説明用の端末接続、投影テストについてです。事業者がプレゼンテーションをする際に、パワーポイントを使って説明する事が想定されますので、プレゼンテーション開始5分前に事務局が機材の投影確認をします。</p> <p>最初に、事業者から事務局がパソコンを預かり、設置して正しく投影出来ることを確認した後、プレゼンテーションに移らせていただきます。</p> <p>また、プレゼンテーションは、事業候補者の出席者を3名までとし、20分が経過した場合には途中でも終了していただくこととします。</p> <p>プレゼンテーションの進行は原則、総括責任者が中心となって行っていただきます。ただし、詳細については、部分的に他の方が説明することも可能とします。</p> <p>プレゼンテーションで投影する資料を除き、原則、選考に関わる提出書類を基に説明していただくものとしますが、説明にあたり、追加資料を配布したい場合は、あらかじめ事務局が了承した上で、最大A3用紙各片面1枚程度を追加資料として認めることとします。</p> <p>質疑応答について、各委員から質問していただき、事業者から回答をいただくこととなります。</p>

	<p>回答は原則として、総括責任者の方が中心となって行っていただきます。詳細については、他の方が説明することも可能とします。</p> <p>二次審査は、7月6日（金）9時30分から12時までということで、お忙しい中、長い時間をいただき、恐縮ですが、委員の皆様はよろしく願いいたします。</p> <p>なお、一次審査の結果は、本日の午後にメールで通知する予定です。</p> <p>また、今後のスケジュールにつきましては、参考資料1に記載しておりますので、ご覧いただければと思います。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
A委員	<p>ありがとうございました。何か質問や確認はありますか。</p>
B委員	<p>説明は総括責任者と書いてありますが、場合によっては、実際に業務を中心にやっていただく方、例えば、主任業務責任者等に説明していただいた方が良いのかなと思いました。</p>
A委員	<p>業務を中心になっていただく方が良いかもしれませんね。そういう視点でお願いします。</p> <p>私から皆さんに確認ですが、質問する項目順は、順番どおりではなく、ランダムでよろしいでしょうか。</p> <p>特にご意見等なければ、ランダムということにしましょう。</p> <p>当日は、積極的に質問して下さい。</p> <p>今後のスケジュールについて、簡単に説明していただけますか。</p>
事務局	<p>参考資料1の7月以降について、ご覧ください。</p> <p>7月6日の第三回事業候補者選考委員会後、各事業者へ結果通知を行い、7月26日に行われる業者選定委員会に付議します。業者選定委員会が終わりましたら、契約締結期間を1週間から10日ほど設け、8月の中旬に契約を締結し、最後に結果公表という予定です。</p>
A委員	<p>【4 閉会】</p> <p>ありがとうございます。他にありますか。</p> <p>特にないようですので、本日はこれで閉会します。おつかれさまでした。</p>

会議名	町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託第3回事業候補者選考委員会
開催日時	平成30年7月6日（金曜日）午前9時30分から11時45分まで
開催場所	港区役所3階産業・地域振興支援部会議室
委員	産業・地域振興支援部長 星川 邦昭（委員長） 産業・地域振興支援部地域振興課長 櫻庭 靖之（副委員長） 芝地区総合支所協働推進課長 金田 耕治郎（委員） 麻布地区総合支所協働推進課長 鈴木 健（委員） 高輪地区総合支所協働推進課長 鈴木 雅紀（委員）
事務局	産業・地域振興支援部地域振興課
会議次第	1 開会 2 第二次審査（プレゼンテーション及び質疑応答） （1）事業者A （2）事業者B 3 事業候補者の決定 4 その他 5 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員会第二次審査について ・資料2 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考基準及び第二次審査採点票 ・参考資料 町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託選考委員会スケジュール
会議の内容	
A委員	【1 開会】 皆様、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。 ただいまから、「第3回町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事業候補者選考委員会」を始めます。 本日は、第二次審査として、2事業者のプレゼンテーションを実施し、その後委員会での選考を行い、本件の事業候補者を決定します。 まずは、事務局から本日の流れについて説明をお願いします。
事務局	【2 第二次審査（プレゼンテーション及び質疑応答）】 資料1をご覧ください。 本日は、2事業者について、第二次審査のプレゼンテーションをご覧ください、提案内容について、質疑を行っていただきます。 時間配分につきましては、1事業者あたりプレゼンテーションが20分、質疑応答が20分の合計40分で行います。 プレゼンテーションは事業者A、Bの順で行います。プレゼンテーションに

	<p>ついては、20分経過したところで途中でも終了とします。プレゼンテーションを開始して残り5分と1分に終了予告のベルを鳴らします。</p> <p>続きまして、資料2をご覧ください。</p> <p>評価票には、各項目に1～5までの5段階評価をご記入ください。2事業者プレゼンテーション及び質疑応答終了後、事務局が採点を集計します。集計後、本委員会を再開し、結果を踏まえまして、事業候補者を決定します。</p> <p>事務局からの説明は以上です。</p>
A委員	<p>ありがとうございました。ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>それでは早速、事業者Aから始めましょう。</p>
事務局	<p>(事業者A入室)</p> <p>それでは、プレゼンテーションを始めてください。プレゼンテーションは、20分で終了してください。</p>
事業者A	<p><事業者Aのプレゼンテーションの説明ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ■分析は「外部環境分析」（エリア分析、事例分析等）と「内部要因分析」（アンケート調査等）の両面から行う。 ■町会・自治会支援の実績として、商店会等と連携して行った天の川蛍祭を行い、在勤者や中小企業等も参加した例を紹介。 ■ヒアリングは、会長及び役員を訪問して実施する。 ■支援アドバイザーは全員が中小企業診断士であり、各地区2名ずつ、その内、平成29年度東京都地域活動支援アドバイザーを各地区1名ずつ配置。
事務局	<p><事業者Aの質疑応答></p> <p>プレゼンテーションの途中ですが、20分が経過しましたので、終了とさせていただきます。</p>
A委員	<p>それでは、各委員から質問をお願いします。</p>
B委員	<p>まず、支援アドバイザーについて、中小企業診断士の会員の方で、様々な専門分野の方がいらっしゃるということでした。</p> <p>町会・自治会には、運営面・資金面、担い手不足等の様々な課題があります。</p> <p>町会・自治会は、その課題を解決するための防災対策、防犯対策等、様々な取組をどのように展開してくれるのかを知りたいと思っています。</p> <p>会員さんの力だけでは解決できない課題があった場合、会員以外のアドバイザーを用意することは想定されているのでしょうか。</p>
事業者A	<p>あり得ると思います。ただ、原則としては、会員で対応できると思います。</p>
B委員	<p>ありがとうございます。もう1点よろしいでしょうか。</p> <p>平成29年度に都の地域生活支援アドバイザー業務に従事された方が、今回も何人かこの業務に従事されるということですが、その際に具体的に「町会・自治会が活性化された」という事例があれば、教えてください。</p>

事業者A	私たちが対応したのは、課題に対して、提案を行うところまでを行いましたので、成果というところまでは至っていません。
B委員	わかりました。ありがとうございます。
A委員	他にありますか。
C委員	具体的な分析ツールを色々ご提案いただいておりますが、これらをどのように町会・自治会に活用していくのかご説明していただきたいと思います。また、転入人口が増えている港区において、若い世代の方々が町会・自治会に入ってくれるかが課題だと思いますが、それについて、現時点で何か見解・見識をいただければと思います。
事業者A	まず、分析について、全体的にはマクロの分析をやりたいと思っています。「地域別基本計画」にて示されている方向性に合うような支援をしていきたいと思っています。 昼間人口や転入者の動向を分析し、各町会において、どのような活動をすれば良いのかというマクロの分析をさせていただければと思います。 人口の増減等は、東京都や港区がどのような違いがあるのかなど、背景分析する際に使わせていただきたいと思っています。 転入者については、例えば、チラシを持って町会に入ってくださいと言っても、なかなか効果が出ないと思います。 しかし、蛍祭りのように、蛍をきっかけにタワーマンションに住んでいる住民が来て、参加する中で「何かお手伝いしましょうか」となる場合があります。このように「町会に入りませんか」と言うよりも「町会ではこういう活動をしています」というのを実際に見ていただく方が、理解をいただけたと思います。そのような方向性を探っていきたいと考えております。
C委員	わかりました。ありがとうございます。
A委員	他にはいかがでしょうか。
D委員	町会・自治会の課題として、加入促進をどのように進めていくかということが挙げられると思います。町会・自治会に興味がないという方が多い中、どのように加入促進をしていくのかという点を教えてください。 また、実績としてお祭りを挙げておられました。お祭りは楽しいことですので、一般的に人が集まりやすいものだと考えています。 ここでいう町会・自治会活動というのは、生活安全を守るためのパトロールやきれいな街を守るための環境美化活動等のことであり、それらの活動に協力してくれる人材を確保することに町会・自治会は課題を抱えています。その部分において、実績につながったことがあれば教えてください。
事業者A	加入促進については、無理矢理やってもなかなか上手くいかないことも多いと感じています。 町会により違いがあると思いますが、若い人たちの考え方を入れながら、加

	<p>入促進をやっていくというのが大事と考えます。例えば、ある町会では、高校生が役員をやっている町会があり、自分の高校の仲間とかが入ってくれることもあるようです。活動を行う中で、お母さん、お父さんも巻き込み、活動を展開していくというやり方もございます。</p> <p>また、港区の昼間人口は100万人ほどです。我々は、昼間人口が大事だと思っています。私が実際に経営相談した中に、「ホームページ作りましょうか」と言うホームページ作成会社の社長さんもおられました。</p> <p>昼間働いていて、住民ではないけど、中小企業の社長さんも、町会に入っていて、活動支援をしていただくのもありかと思います。</p> <p>加入促進については、そういう事も含め、昼間人口の100万人がもう少し参加してくれないかと考えております。</p>
D委員	わかりました。ありがとうございます。
A委員	他にはいかがでしょうか。
E委員	<p>スタッフについて質問します。この点に関しては、担当者の力量に左右されるところもあるのではないかと懸念しています。責任者や主任など、どのようなかたちで体制を調整していただけるのかを教えてください。</p> <p>それとスタッフの年齢構成について、現時点での考えを教えてください。</p> <p>また、来年度以降、3年間の見通しについて、現時点で決まっている範囲で構いませんので、どのようなかたちで進めていく予定なのか教えてください。</p>
事業者A	<p>我々は月に1回、必ず定例会を開いています。その時に事例を発表し合い、情報共有をしたいと思っています。</p> <p>中小企業診断士の中に、町会・自治会に加入している者もおりますので、その人たちの意見も聴収したいと思っています。</p> <p>年齢構成については、最近、中小企業診断士になった若い人もおりますので、その若い力も考慮したいと考えています。</p> <p>次年度以降についてですが、課題・問題点を挙げるとおそらく10個や20個挙がってくると思います。それを一気に解決できないので、1個ずつ解決していくしかないと感じています。</p> <p>町会・自治会の人たちが、「こうやって問題を解決していくのか」という小さな成功体験、小さな改善を積み重ねていく形で進めていきたいです。</p>
A委員	<p>私から1つよろしいでしょうか。</p> <p>町会の人材育成について、どのように考えているのかということと今後どのようにしていこうかということについて、教えてください。</p>
事業者A	<p>若い役員の中には、優れた方もいらっしゃいます。町会のセミナーを行った際にSWOT分析を行いました。町会における「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」を書いていただきましたが、会長はペンが進まない中、若い役員はサラサラと書いておられました。この町会の良いところと悪いところ、どうい</p>

	<p>環境でどう行動すべきかというところを、しっかり書ける人材がおります。そういう人材を見つけ、将来の会長に繋げるような人材育成をしていく事が大事だと思います。</p> <p>企業と町会の人材育成の違いについて、町会は、そこに住んでいる人しか上に行くことはできず、外から招聘するわけにはいきませんが、企業は、外から経営者を招聘する場合があります。</p> <p>そうすると町会はOJTのような形で、会長と若い役員と一緒に仕事をしながら、若い役員が将来の幹事になれるよう、人材育成をしていくことが大事だと考えています。</p>
A委員	<p>わかりました。</p> <p>他にはありますか。それでは、本日はありがとうございました。</p> <p>(事業者A退室)</p> <p>委員の皆様は、評価のご記入をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事業者Bを始めましょう。</p>
事務局	<p>(事業者B入室)</p> <p>それでは、プレゼンテーションを始めてください。プレゼンテーションは、20分で終了してください。</p>
事業者B	<p><事業者Bのプレゼンテーションの説明ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成26年度から29年度に中野区や品川区での町会・自治会支援業務の実績がある。 ■ヒアリング手法として、グループヒアリングを2回行う。1回目は課題の洗出で、町会・自治会以外にもPTA、NPOや民生委員も参加していただく。2回目は、1回目のヒアリングを踏まえ、今後の進め方とプログラムについて意見交換を行う。 ■港区協働事業活動補助金の活用や外部団体との協働も模索しながら、展開を図る。 ■支援アドバイザーは、「組織運営・基盤強化」、「情報発信」、「地域イベント」、「防災」や「子育て支援」など専門性が高いアドバイザーを揃える。
A委員	<p><事業者Bの質疑応答></p> <p>それでは、各委員から質問をお願いします。</p>
B委員	<p>御社は、様々な自治体や町会・自治会支援に携わっていますが、これまで企画、提案またはアドバイスした業務で、具体的に町会・自治会活動が活性化したという成果がありましたら、教えてください。</p> <p>また、担い手が不足している町会について、港区の町会・自治会は、会費は納めてくれるが、活動の担い手にはならないという悩みを抱えている団体が多いのが現状です。先程、支援の考え方についてアプローチをご紹介いただきましたが、具体的に若い担い手を取り込む手法についてお考えがあれば、お願いします。</p>

事業者B	<p>例をひとつ挙げると、「何かやりたいけど、具体化できない」という町会の青年部会があり、子ども会を通じて、地域の繋がりをつくるという支援を行っています。</p> <p>会費を納めてくれるが、若い人たちや新しい人が来ないという点について、イベントのテーマを「子どもの防災」などに設定することで人をかなり呼ぶ事に成功している事例もあります。イベントを入口にし、防災活動をお母さんや子どもたちに行っていただきつつ、町会・自治会の活動はこういうものですと伝えているケースもあります。</p>
A委員	<p>他にはありますか。</p>
C委員	<p>今、別の委員からも質問がありましたが、若い世代の方の町会・自治会への関わり方について、町会・自治会には高齢者が多い中、若い世代の方たちが、年配の方々を立てながらもどのような形で町会・自治会を活性化させていくことができるか、何か工夫がありましたら、教えてください。</p>
事業者B	<p>活動には引き続き参加していただきながらも、役員は降り、世代交代を図るという定年制を敷くことが考えられます。</p> <p>また、色々な活動をしている若い方と自治会の活動が、つながっていない場合が多くあります。たくさんの方に聞いたところ、ゴルフの連絡は、みんなラインを使っているのだけれども、町会の連絡はラインを使っていないということを伺いました。つまり、町会員はスマホを持っていますが、使い方が分からないわけではなく、町会員は使わないとっていて、使っていないのです。そのようなところを考慮してあげると、意外と活動が上手くいくのではと考えております。</p> <p>それと他区において、横の交流をつくることができない場合があります。横の交流をつくれれば、こんなこともできるのではと活動が広がることもあります。例えば、マンションが多くなると若い人も増える傾向にあります。新しく入る若い人と自治会との連絡をどうするかというところもポイントになります。</p> <p>品川区は条例に基づいて、新しいマンションには連絡帳を置くことを決めています。それが自治会と若い人をつなぐ仕組みのひとつになります。</p> <p>港区は海外経験豊富な方が、地域に沢山いらっしゃると思っています。ここに対する仕掛けができると良いのではないかと考えています。何か港区なりの工夫ができるのではと考えています。</p> <p>トップにおられる70代の人に、「若手」と言われる層の50代、60代の人になかなか直接言えないことも、アドバイザーであれば、「こういう事をやりましょう」とお話できる場合もあります。</p> <p>この事業等を活用していただければ、少しは変わっていくのではないかと考えています。</p>
A委員	<p>他にはありますか。</p>
D委員	<p>外部団体との協働は、どのような団体とどのような協働を想定しているのか教えてください。</p>

	<p>また、町会・自治会への加入促進、活動の担い手を増やすにあたり、何かお考えがあれば教えてください。</p>
事業者B	<p>私たちは、社会福祉協議会と繋がりがあり、民間企業やNPOとのネットワークを持っています。そのネットワーク経由で人を紹介していただくことも可能です。うちの財産は、そのネットワークかと思っています。</p> <p>加入促進について、昔からの町会・自治会は組織自体が強固で、なかなか若い世代が入りきれないところがあります。そこに加入してくださいと言っても、ハードルも高いです。</p> <p>例えば、子ども会などを通じて「知り合い」、そして、そこを入口にお祭りにお呼びするなど、少しずつ地域を知っていただくプロセスを設けて、加入するかどうかにもっていくことが考えられます。今回アドバイザーが入ることにより地域の見え方が変わり、新しい方にも入っていただくことができると思います。</p>
E委員	<p>PTAなどの関係機関も交えながらグループヒアリングを行ったということでしたが、この機関が入る場合と入らない場合で話の内容に変化が生じているのでしょうか。</p>
事業者B	<p>違ってきます。町会が持っていない、別の情報が入ってくるので、内容が立体的になります。</p>
E委員	<p>3年間での支援について、各年での取組予定等をお聞かせいただきたいと思います。</p>
事業者B	<p>支援団体が10団体ある中で、早いところであれば、今年度中に取組を行い、取組の足跡を付けられるかと思っています。ただ、無理に育てていくのは非常に負担もかかるので、今年度は方向性の確認ができればと思います。</p> <p>次年度は、こういう事をやりましょうというものを決め、年間計画をつくります。町会における費用等も判断しながら、丁寧に話を進めていければと考えています。最終年は、町会ができるだけ自立し、自分たちで考えて進んでいけるようなノウハウを残していきたいと考えています。</p>
A委員	<p>品川区の例について、品川特有の地域課題に対しての解決策をしたのであれば、どういう形で解決したのか、解決していないのであれば、その課題に対して、どのような取組を行ったのかを教えてください。</p>
事業者B	<p>港区も該当するかもしれませんが、戸建住宅地の中にマンションがある場合において、マンションはオートロックで中に入れず、町会の勧誘ができない状況がありました。会計士さんが提案して、「郵便ボックスにチラシを入れられないか」「掲示板を作れないか」とか、入居者と自治会がコミュニケーションを取る方法を考えました。</p>
A委員	<p>他にはありますか。</p> <p>それでは、ありがとうございました。</p>

A委員	<p>(事業者B退室)</p> <p>評価票の記入は、お済みでしょうか。 それでは事務局は集計をお願いします。 集計が終了するまでの間、休憩とします。</p>
A委員	<p>【3 事業候補者の決定】</p> <p>集計が終了しましたので、選考委員会を再開します。集計結果を席上に配布しています。内容については、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>配布した資料に沿って、集計結果をご報告します。 第二次選考の評価は、各委員 50 点満点の合計 250 点満点で採点を行なっています。 第二次選考評価を合計しますと、事業者A 153 点、事業者B 205 点となります。第一次選考評価と合計致しますと、事業者A 479 点、事業者B 587 点で、第一位が事業者B、第二位が事業者Aとなります。 なお、ご自身の採点に誤り等がないか、ご確認をお願いします。 事務局からの説明は以上です。</p>
A委員	<p>それでは、各事業者の評価について、各委員から講評をお願いします。</p>
B委員	<p>事業者Aについては、提案書もそうですが、やはり実績が少ないところが不安な点としてあります。都の業務についても成果までは追っておらず、アドバイスまでということでしたので、実績不足かと感じました。 質疑応答を通して、経験も少ないということもあつてか、専門性があまり感じられませんでした。 アドバイザーについても、経営支援のノウハウがあることは認めますが、会員だけでアドバイザー業務をやっていくのは、体制が不十分と感じました。 事業者Bについては、これまでの経験を踏まえて、今日の提案についても、色々な話を聞いて良かったです。全体的に提案書もプレゼンテーションも、ポイントを捉えた資料作りだったと思います。 アドバイザーもアドバイスだけで終了ではなく、その後のフォローについても資料の中で記載されていました。事業者Bに期待したいです。 以上です。</p>
C委員	<p>事業者Aは、中小企業診断士ということで、港区とつながりがあり、そういう視点での地域性の把握はされていると思いました。汗をかいて、個別の町会・自治会にアプローチすることに期待できるかなと感じました。ただ、他の委員からの指摘にもありましたが、対応力において、不透明な部分があり、トータルとしては「良」か「可」の評価とさせていただいております。 事業者Bについては、手慣れた提案だったなと思います。プロセス、手順、成果とも手堅いものを期待できていると感じています。トータルとしては「優」とさせていただきます。</p>
D委員	<p>私は、第一次審査と 180 度方向転換して、申し訳ないですが、事業者Aは、資料を詰め込んできたと感じましたが、質疑応答を通して、対応力と柔軟性</p>

	<p>という点に不安を感じました。中小企業診断士としての経験から地域への貢献は高いと思いましたが、専ら商店会と地域の結びつきが大事というところで、商店会のない地域に対しては、どのようにアプローチをするのかという部分においては、具体的なアイデアが無いように見受けられました。</p> <p>また、実行計画が中小企業支援のスキームに当てはめており、それが町会に有効でなかった場合にどうアプローチしていくのかの言及がなかったため、全体的に点数を落とした形になっています。</p> <p>事業者Bは、中野区や品川区との経験は、港区でも活かせる部分があるのではと思いました。プレゼンを聞いて、企画力、実行力や柔軟性が優れているのではないかと印象を受けました。</p> <p>長いスパンでの委託という形になりますので、しっかり管理していかなければいけないとは思いますが、全体としては事業者Bに高い評価をしました。以上です。</p>
E 委員	<p>私も、基本的に3人と考え方は一緒です。事業者Aについては、港区での経験やプレゼンでも熱意のある部分は評価できます。ただ、今回の町会・自治会での分析は、中小企業や商店会の分析に近いやり方で、その点について、少し無理矢理かなという感じがしました。それと年齢構成について、年齢の高い方が多いのではないかなと感じ、バランスの良い提案等々ができるかと少し心配です。</p> <p>事業者Bにつきましては、品川区や中野区で培ったノウハウがあり、願いする際には安心かなという部分があります。また、手法についても、写真も交えて、具体的な提案をしていただき、期待ができるかなと思いました。質疑についても的を得た適切な回答をしていたと感じました。</p> <p>全体的には、高い評価をさせていただきました。以上です。</p>
A 委員	<p>事業者Aにつきましては、分析が机上のものだけで終わりそうな感じがしました。また、質疑応答において、明確な受答えが得られなかったところが残念だったと感じました。</p> <p>事業者Bについては、手堅く、他自治体での経験を持っていて、港区の地域性等もすぐに把握できそうに感じられ、一定程度の評価をできると感じました。そこに胡坐をかいて、進めそうなところもあったので、最終的に姿勢という面では普通ですが、全体的な評価としては、事業者Bが良いのではないかと印象です。</p>
A 委員	<p>それでは、総合点に占める得点の割合を事務局から教えていただけますか。</p>
事務局	<p>得点率は、事業者Aは63.8%、事業者Bは78.2%です。両事業者とも、6割を超えています。</p>
A 委員	<p>わかりました。</p> <p>これまでの経過を踏まえ、事業者Bに決定ということでよろしいでしょうか。(拍手)</p> <p>ありがとうございました。</p>

事務局	事務局は、事業者に対して選考結果の通知をお願いします。 承知しました。
A委員	【4 その他】 最後に、今後の流れについて、事務局からお願いします。
事務局	まず、2事業者に対しまして、本日の選考結果を通知させていただきます。次に本委員会の選考経過等を作成しまして、7月26日に行われます業者選定委員会に付議し、審議をしていただきます。承認後、速やかに事業者Aとの契約締結を行います。 事務局からの説明は以上です。
A委員	【5 閉会】 よろしいでしょうか。 最後に、全体をとおして質問や意見はありますか。 特段ないようですので、本委員会はこれで閉会します。 委員の皆さん、3回に亘り、ご出席いただきありがとうございました。